



おにぎりの日

6月18日



1987年石川県鹿島郡鹿西町で日本最古のおにぎりの化石が発見され、鹿西市がこれにちなんで町興しを企画した際に制定されました。
発見された化石は、約二千年前の弥生時代のもので、ちゃんと三角形の形をしていたそうです。

改めて考えてみると、三角という形は握りやすい上に安定している、そして、食べやすいですね。
古人の知恵だなあ・・・と感心してしまいます。



6月6日

ムラサキツククサ

尊敬

早朝に咲き、午後にはしぼむ
一日花。

6月9日

ガウラ

負けず嫌い

蝶が飛んでいるような花の形から「ハクチョウソウ(白蝶草)」とも呼ばれてます。ひとつの花は咲いてから3日ほどで散ってしましますが、春から秋にかけて次々と花を咲かせていくため、長い間観賞することができます。



6月27日

アガパンサス

恋の訪れ

光沢と厚みのある細長い葉が茂った中から、ずっと花首を立ち上げて花火のような青い花を咲かせます。
丈夫で育てやすい草花です。



June flower

6月の花

Birthday flower

6月のモデル (2021年6月)



株式会社中曽根造園



トウロウの名前あてクイズ!

天下茶屋

政夫雪見

ゲタ歯

善道寺



水と樹木のはなし

樹木はどうやって水を吸い上げているのでしょうか?

細いチューブで水を吸い、しばらくしてから吸うのを止めたとき。

しかし、チューブ内の水は自動的に上昇しはじめます。これを“**サイフォンの原理**”といいます。

植物が水を吸い上げる時も、この力を利用しているのですが、それだけではありません。

根の細胞は**浸透圧**により土壌内の水分を細胞に取り込みます。

根から水分を受け取った木部は、**毛管現象***により水分を吸収していきます。

※布を水に浸すとどんどん吸収していく原理

これらの力に加えて…

大気が葉から水を吸い上げる力がはたらきます。

気温が高く乾燥した日、洗濯物が良く乾くのは、大気が水を吸い取っているからです。

これと同じように、水蒸気圧が高い葉は、大気から水分を引っ張られています。

このようにして、根から吸い上げられた水分のそのほとんどが、葉から蒸散されます。

光合成に使用されるのは、1%以下なのだそうです。

